



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月3日

上場会社名 株式会社 カナデン 上場取引所 東
 コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守屋 太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦 TEL 03-6747-8805
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	30,736	3.8	516	10.0	707	46.6	457	46.7
2026年3月期第1四半期	29,609	31.9	469	39.1	483	△16.3	311	△12.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,049百万円 (182.3%) 2026年3月期第1四半期 371百万円 (△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	20.51	—
2026年3月期第1四半期	13.99	—

(注) 2026年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	85,626	51,172	59.7	2,295.56
2026年3月期	97,962	50,918	52.0	2,283.12

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 51,156百万円 2026年3月期 50,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	63,000	2.2	1,700	1.4	1,800	△0.4	1,200	0.2	53.83
通期	150,000	3.0	5,900	10.7	6,000	3.7	4,000	0.9	179.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	22,500,000株	2026年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	215,128株	2026年3月期	204,339株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	22,292,964株	2026年3月期1Q	22,281,300株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格高騰に加え、エネルギーや各種素材の供給制約への懸念等の影響を受けながらも、生成A Iの旺盛な需要を背景として企業の設備投資は持ち直し、景気は回復基調で推移しました。

引き続き中東情勢の影響による景気の下押しリスクは継続しており、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況下、当社グループは、新たな3ヵ年中期経営計画『True Solution 2028』を始動させ、真の課題解決力を追求し、高収益構造の確立と強固な経営基盤の構築を進めることで、持続的な成長の実現とさらなる企業価値の向上を目指し各施策の取り組みを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、F Aシステム事業は、前期の大口案件の剥落の影響がありながらも、在庫調整の影響は改善に向かい、社会インフラ事業では鉄道事業者向けビジネスが堅調に推移しました。また、半導体・デバイス事業においては、モジュールビジネスが好調に推移しました。

その結果、売上高につきましては、30,736百万円（前期比1,127百万円増）、営業利益につきましては、516百万円（前期比46百万円増）、経常利益につきましては、707百万円（前期比224百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、457百万円（前期比145百万円増）となりました。

セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第1四半期連結 累計期間	当第1四半期連結 累計期間	増減額
F Aシステム事業	売上高	13,334	14,366	1,031
	営業利益	207	△19	△226
ビル設備事業	売上高	3,065	1,776	△1,289
	営業利益	△133	△207	△73
半導体・デバイス事業	売上高	4,756	5,984	1,227
	営業利益	404	649	244
社会インフラ事業	売上高	8,452	8,609	157
	営業利益	△8	93	102

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、従来の4セグメントの内容を見直し、「F Aシステム」「ビル設備」「半導体・デバイス」「社会インフラ」の4セグメントに再編しました。

また、併せてセグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

① F Aシステム事業

F A分野は、在庫調整の影響が改善し、コントローラシステムや駆動制御機器が堅調に推移するとともに、データセンター向けの配電制御機器も順調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、レーザー加工機の案件が減少しました。

産業システム分野では、前期の大口案件の剥落の影響により減少しました。

空調冷暖機器分野は、暑熱対策案件が増加しておりますが、大口案件が減少し前年並みで推移しました。

その結果、当該事業としては1,031百万円の増収とはなりましたが、産業メカトロニクス分野、産業システム分野の減少に加え、セグメント変更の影響もあり営業利益は226百万円の減益となりました。

② ビル設備事業

設備機器分野は、情報通信事業者向け電源設備は、前期の大口案件の剥落の影響により減少しました。

情報通信分野は、流通分野向け画像・映像機器が低調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,289百万円の減収となり、営業利益は73百万円の減益となりました。

③ 半導体・デバイス事業

産業機器向けパワーデバイスが需要減少により苦戦しましたが、家庭用電気機器向けW i - F i モジュールやO A機器向けの電子デバイス品の需要が継続し、順調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,227百万円の増収となり、営業利益は244百万円の増益となりました。

④社会インフラ事業

交通分野は、鉄道事業者の設備投資が継続しており、無線通信機器・車両用機器が順調に推移しました。

ディフェンス&メディカル分野は、電子医療装置の案件が減少しましたが、防衛関連の案件が増加し、順調に推移しました。

その結果、当該事業としては157百万円の増収となり、営業利益は102百万円の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、85,626百万円（前期末比12,336百万円減）となりました。

流動資産は、67,174百万円（前期末比13,220百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前渡金が1,388百万円増加、商品及び製品が1,050百万円増加、電子記録債権が555百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が10,625百万円減少、現金及び預金が5,782百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、18,452百万円（前期末比884百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、無形固定資産が95百万円減少した一方で、投資有価証券が898百万円増加したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、33,160百万円（前期末比13,075百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が2,857百万円増加、預り金が448百万円増加、電子記録債務が225百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が13,310百万円減少、未払法人税等が1,473百万円減少、賞与引当金が958百万円減少、未払消費税等が285百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、1,294百万円（前期末比486百万円増）となりました。

純資産は、51,172百万円（前期末比253百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を457百万円計上、配当金の支払が802百万円あったことにより、利益剰余金が345百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が538百万円増加、為替換算調整勘定が55百万円増加したことが主要な要因であります。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.7%、1株当たり純資産額は2,295円56銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績については、現時点では2026年5月13日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,126	18,344
受取手形、売掛金及び契約資産	35,284	24,658
電子記録債権	8,764	9,320
商品及び製品	7,761	8,811
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	4,463	6,044
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	80,395	67,174
固定資産		
有形固定資産	8,595	8,560
無形固定資産		
のれん	1,400	1,347
その他	1,343	1,300
無形固定資産合計	2,743	2,648
投資その他の資産		
投資有価証券	5,227	6,125
その他	1,033	1,147
貸倒引当金	△33	△29
投資その他の資産合計	6,228	7,244
固定資産合計	17,567	18,452
資産合計	97,962	85,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,907	16,597
電子記録債務	5,865	6,090
未払法人税等	1,569	95
引当金	1,381	358
その他	7,512	10,018
流動負債合計	46,236	33,160
固定負債		
引当金	31	32
退職給付に係る負債	304	312
その他	472	949
固定負債合計	807	1,294
負債合計	47,044	34,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,355	5,379
利益剰余金	36,978	36,633
自己株式	△291	△309
株主資本合計	47,619	47,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,924	2,462
土地再評価差額金	373	373
為替換算調整勘定	964	1,019
退職給付に係る調整累計額	22	20
その他の包括利益累計額合計	3,284	3,875
非支配株主持分	15	15
純資産合計	50,918	51,172
負債純資産合計	97,962	85,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	29,609	30,736
売上原価	25,809	26,770
売上総利益	3,800	3,966
販売費及び一般管理費	3,331	3,450
営業利益	469	516
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	60	88
仕入割引	19	30
為替差益	-	52
その他	26	22
営業外収益合計	112	199
営業外費用		
支払利息	4	3
為替差損	90	-
その他	3	4
営業外費用合計	98	7
経常利益	483	707
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	483	707
法人税、住民税及び事業税	42	45
法人税等調整額	128	204
法人税等合計	171	250
四半期純利益	311	457
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	457

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	311	457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	538
為替換算調整勘定	△158	55
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	59	591
四半期包括利益	371	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371	1,048
非支配株主に係る四半期包括利益	-	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	167百万円	172百万円
のれん償却額	52百万円	52百万円

(注) 前第3四半期連結累計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	F Aシステム 事業	ビル設備事業	半導体・デバイス 事業	社会インフラ 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	13,334	3,065	4,756	8,452	29,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	13,334	3,065	4,756	8,452	29,609
セグメント利益又は 損失(△)	207	△133	404	△8	469

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 前第3四半期連結累計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、セグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	F Aシステム 事業	ビル設備事業	半導体・デバイス 事業	社会インフラ 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,366	1,776	5,984	8,609	30,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	14,366	1,776	5,984	8,609	30,736
セグメント利益又は 損失(△)	△19	△207	649	93	516

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、従来の4セグメントの内容を見直し、「F Aシステム」「ビル設備」「半導体・デバイス」「社会インフラ」の4セグメントに再編しました。

また、併せてセグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。